

動的なサイトを作ろう2

リストの動的追加

メッセージを入力してくだ

メッセージを追加

- 小西プログラミング塾

この教材でできること

- HTMLとJSの連携について理解できる
- 動的なコンテンツ生成と操作について理解できる

どんな教材？

より高度でインタラクティブなwebサイトの基礎がわかる
教材

目次

①HTMLで文字の出力をしよう

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

目次

①HTMLで文字の出力をしよう

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

①HTMLで文字の出力をしよう

画面に出力される文字を書いたり、JSとの連携についてのHTMLのコードを書くよ

リストの動的追加

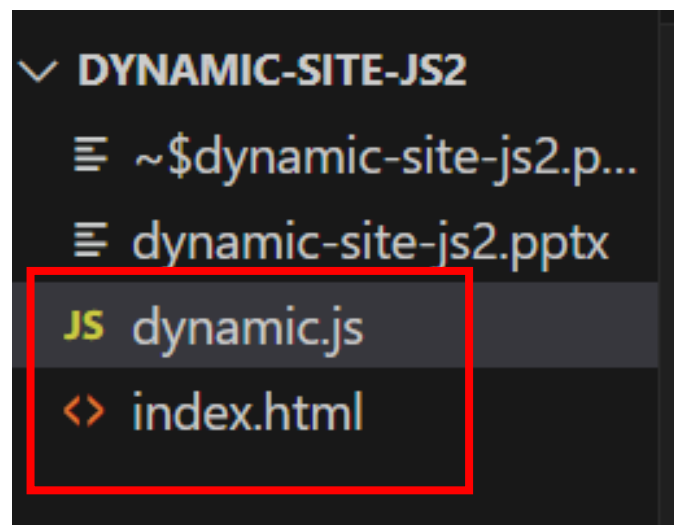
メッセージを入力してくだ

メッセージを追加

①HTMLで文字の出力をしよう

早速VScodeを開いてフォルダー、ファイルを準備しよう

テキストでは「dynamic-site-js2」というフォルダーの中に「index.html」と「dynamic.js」のファイルを生成したよ



①HTMLで文字の出力をしよう

htmlに以下のコードを書こう！

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja">
3 <head>
4   <meta charset="UTF-8">
5   <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
6   <title>メッセージ追加</title>
7 </head>
8 <body>
9   <h1>リストの動的追加</h1>
10  <input type="text" id="messageInput" placeholder="メッセージを入力してください">
11  <button id="addButton">メッセージを追加</button>
12  <ul id="messageList"></ul>
13
14  <script src="dynamic.js"></script>
15 </body>
16 </html>
17
```

①HTMLで文字の出力をしよう

htmlが書けたらwebページを見てちゃんと出力されているか確認してみよう！

リストの動的追加

メッセージを入力してくだ

メッセージを追加

目次

①HTMLで文字の出力をしよう

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

このページではJSを使って、ボタンがクリックされたときにメッセージが追加されるようにするよ

リストの動的追加

メッセージを入力してくだ

メッセージを追加

- 小西プログラミング塾

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

jsのファイルで以下のコードを書こう！

```
JS dynamic.js > ...
1   document.addEventListener("DOMContentLoaded", function() {
2
3   });
4
```

説明

```
document.addEventListener("DOMContentLoaded", function() {  
});
```

ページが完全に読み込まれた後に、特定の処理を実行するよ
特定の処理は{}の中の内容だよ

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

次にhtmlのid名「addButton」, 「messageInput」,
「messageList」の内容を変数に代入しよう

```
JS dynamic.js > ...
1  document.addEventListener("DOMContentLoaded", function() {
2      const addButton = document.getElementById("addButton");
3      const messageInput = document.getElementById("messageInput");
4      const messageList = document.getElementById("messageList");
5  });
6
```

説明

- `const button = document.getElementById("changeButton");`
:HTMLの「id=changeButton」の内容を「button」というJSの変数に入れているよ

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

次に以下のコードを書こう！

クリックされたときの処理を書くよ！

```
1 document.addEventListener("DOMContentLoaded", function() {  
2     const addButton = document.getElementById("addButton");  
3     const messageInput = document.getElementById("messageInput");  
4     const messageList = document.getElementById("messageList");  
5  
6     // ボタンがクリックされるたびに新しいリストアイテムを追加  
7     addButton.addEventListener("click", function() {  
8  
9     });  
10 });
```

説明

```
button.addEventListener("click", function() {  
});
```

button変数が何かアクションを起こった時に実行(今回はクリックされたら実行するようにしているよ)

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

メッセージの内容をmessage変数に代入しよう

```
5
6 // ボタンがクリックされるたびに新しいリストアイテムを追加
7 addButton.addEventListener("click", function() {
8     const message = messageInput.value;
9
10 });
11 });
```

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

もしメッセージが入力されたら処理できるようにしよう

```
7   addButton.addEventListener("click", function
8       const message = messageInput.value;
9
10      // 入力が空でない場合のみリストに追加
11      if (message.trim() !== "") {
12
13      }
14  });
```

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

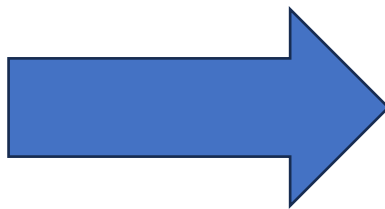
入力内容を変数に代入して、リスト形式(liタグ)で表示する
ようにしよう

```
9
10 // 入力が空でない場合のみリストに追加
11 if (message.trim() !== "") {
12     const newItem = document.createElement("li");
13     newItem.textContent = message;
14     messageList.appendChild(newItem);
15 }
16 });
17 ;
```

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

入力してボタンをクリックするとリスト形式で画面が変わったか確認してみよう！

リストの動的追加



リストの動的追加

- プログラミング

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

数秒たったらメッセージが消えるようにしよう

テキストでは5秒にしているので、自分で好きな数字に変えてみよう

```
11     if (message.trim() !== "") {
12         const newItem = document.createElement("li");
13         newItem.textContent = message;
14         messageList.appendChild(newItem);
15
16         // 5秒後にメッセージを削除
17         setTimeout(function() {
18             messageList.removeChild(newItem);
19         }, 5000); // 5000ミリ秒 = 5秒
20     }
21 }
```

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

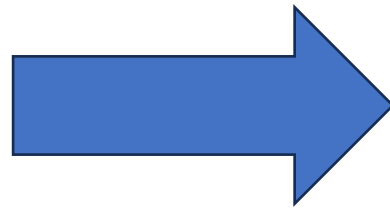
メッセージがしばらくしたら消えるか確認してみよう

リストの動的追加

メッセージを入力してくだ

メッセージを追加

- プログラミング



リストの動的追加

メッセージを入力してくだ

メッセージを追加

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

最後に入力フォームをクリア状態にしよう

```
14 messageList.appendChild(newItem);
15
16 // 5秒後にメッセージを削除
17 setTimeout(function() {
18     | messageList.removeChild(newItem);
19 }, 5000); // 5000ミリ秒 = 5秒
20
21 // 入力フィールドをクリア
22 messageInput.value = "";
23 }
24 };
```

②JSでボタンがクリックされたときの処理をしよう

ここまで出来たら自分なりにアレンジをしてみたり、CSSでデザインを付け加えてみよう

お疲れさまでした

テキストは終了です。
あとは自分なりにアレンジを付け加えていこう！